令和８年度 上富田町立 市ノ瀬小学校（学校経営方針）スクールプラン

上富田町「めざす子ども像」
○すすんで考える子
○心豊かに活動する子
○体をきたえる元気な子
○ふるさとを誇りに思う子
○視野を広くもつ子

保護者・地域の願い
○学力を向上させてほしい
○明るく楽しい学校にしてほしい
○仲間と助け合える子どもに育ってほしい
○地域に誇りをもってほしい
○より良い学習環境で学ばせたい

【学　校　教　育　目　標】
知・徳・体の調和がとれ、
たくましく生きる子どもの育成

【めざす児童像】~かしこく やさしく たくましい子~
・すすんで考え、自ら勉強する子
・思いやりがあり、正しく行動できる子
・根気強くやり抜く子
・体をきたえ、健康・安全に気をつける子

前年度の学校評価
○保護者や地域と連携し、ふるさとの自然や文化を活用した体験学習等に取り組んでいる
○人を思いやる心が育ってきている
○学習環境の整備に努めている

児童（生徒）の実態
○活動的で素直で明るい
○学年を越えて仲がよい
△主体的に学ぶ力、粘り強く取り組む力
△学力の２極化、基礎基本の定着

	確かな学力の定着	豊かでしなやかな心の育成	たくましく生きる力の育成	地域に開かれた学校
重点目標	◎基礎・基本の習得・定着 ◎主体的・対話的に学ぶ授業 ○学習意欲の向上 ○家庭学習と読書活動の充実	◎いじめの未然防止、早期対応 ◎道徳・人権教育の充実 ○集団・仲間づくりの推進	◎危機対応・回避能力の育成 ◎体力向上の推進 ○より良い生活習慣の確立	◎家庭・地域との連携充実 ◎地域の人材や資源を生かした取組 ○町内の社会教育施設等との連携
具体的な取組	○教材研究・授業研究の充実を図る ○学習準備・学習規律等学びに向かう姿勢を徹底（学期アンケート） ○「和歌山の授業づくり基礎・基本３か条」に基づき主体的・対話的で深い学びのある授業を研究する ○タブレット活用、実践事例の蓄積 ○授業での指導や家庭学習の手引きを基に、自主学習を推進 ○朝読、読み聞かせ、家読等読書活動の質を上げる（読書記録）	○安心して生活できる集団作り ◎児童が主体的に活動する機会の充実(児童会・縦割り班活動の活性化) ○いじめアンケートを学期ごとに実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める ○人権尊重の意識を高める ○人権教育を充実し、正しく判断し行動する子(考える子)を育成する ○家庭・教育支援センター・スクールカウンセラー・関係諸機関との連携	○効果的な避難訓練や防犯教室、交通安全教室を行い、感染症対策を含めた危機対応・回避能力を育成する ○体育授業で運動量を確保し、体育行事を充実させる ○体育集会、年間を通じて市小ランを実施し体力の向上を図る ○情報モラル教室を実施し適切な端末の使用、情報モラルを身につける ○「早寝、早起き、朝ごはん」等基本的な生活習慣を徹底する	○学校だよりの町内会回覧等を通して積極的に学校の情報を発信する ◎「まちかど小学校」等の取組を通し、地域の方々と交流の機会を積極的に持つ ○読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材を生かした取組 ◎龍松山見学等、地域の自然・文化を活用しふるさと学習を推進する ○町内での社会教育施設や他の教育機関との連携を推進・充実する
指標	・学力調査結果が県平均以上 ・授業楽しい・わかる（児童85%） ・外部資源活用(研究授業 校内研修) ・読書記録と活動の質的向上	・学校が楽しいと感じる(児童 90%) ・いじめの解消率(児童 100%) ・進んであいさつができる(児童 90%) ・道徳指導計画の完全実施(100%)	・危機対応力の向上(児童 90%) ・情報モラルの向上(児童80%) ・早寝、早起き、朝ごはん（児童85%）	・家庭・地域との連携（保護者 90%） ・町内で連携した取組や人材活用ができた（教師 90%） ・ふるさと学習全学年１回以上実施

◎・・・特に重点的に取り組むこと